

職員による自己評価

A環境面

- ・活動によっては室内が狭いと感じてしまうこともある。
- ・放課後デイの職員以外のラウンドを行い、評価や改善を行っている。

B児童への支援内容

- ・支援計画書に基づいて支援し、日々振り返り話し合いをおこなっている。
- ・外部との交流が出来なかった。

C関係機関との連携

- ・就学前の関係機関と直接の情報共有はないが、保護者から話を伺う事がある。
- ・学校や関係機関と連絡を取り、情報の共有を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・日頃から保護者の方に子どもの様子などを話し、情報共有を行っている。
- ・保護者会の実施は出来ていない。

E非常対応

- ・月間の予定表の配布、ホームページのブログにて活動の様子を発信している。
- ・緊急時マニュアルに沿って避難訓練を実施している。

保護者による評価

A環境面

- ・子どもたちの活動スペースが確保され、職員の配置が適切である。
- ・事業所内の設備はバリアフリー化の配慮がなされている。

B児童への支援内容

- ・子どもたちの課題を踏まえて支援計画書が作成されている。

- ・日頃から子どもの状況を伝え合い共通理解が出来ている。

- ・障がいのない子どもとの交流はない。

C事業所からの情報発信

- ・支援計画書が作成され、支援内容について面談などで説明がされている。
- ・保護者会の実施はされていない。
- ・会報やホームページなどで活動を保護者に発信している。

D非常対応

- ・災害発生に備えて避難訓練が実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・外部との交流・保護者会の実施ができていない。
- ・支援計画書を作成して、それに基づいて支援出来ている。

【相違点】

- ・苦情についての対応体制や災害時避難訓練の実施や情報が不明瞭になっている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・支援計画書に基づいて支援し、日々職員間で話し合いを行っている。
- ・保護者に対して面談を行い、支援ができるよういる。
- ・保護者や学校、関係機関との連携が取れている。

事業所の改善点

- ・外部との交流、地域との交流が出来るよう検討していく。
- ・職員の資質向上ため、研修の機会を増やす。
- ・保護者に苦情体制の設備を明確化する。

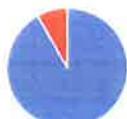
事業所の改善への取り組み

- ・保護者会の計画（事業所10周年記念振り返り会の計画）
- ・地域や外部との交流できる体制をつくる。
- ・苦情の対応についての体制や災害時避難訓練の実施を周知していく。

事業所名 よこはまりバーサイド泉Ⅲひまわり

2022年度 放ディよこはまりバーサイド泉IIIひまわり 評価結果

①子どもの活動等スペースが十分に確保されているか。



②職員の配置数や専門性は適切であるか。



③事業所設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディーサービス計画が作成されているか



⑦支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



⑫定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか



⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



⑭個人情報に十分注意しているか



⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑰子どもは通所を楽しみにしているか



⑮事業所の支援に満足しているか



